

ジンバブエの美術教育－国際協力から見たもの－

五傳木 浩樹

(15-1, ジンバブエ, 小学校教諭, 新潟県立佐渡高等学校)

日本の教育現場で、十数年を過ごし、日々の中で生徒に「美術」を教え、「美術」の楽しさ、難しさを実感していた。毎年入れ替わる生徒との出会いはあるものの、変わり映えのない日常の繰り返しとある種の物足りなさを感じていた。「美術とはいったい何か」という根本問題が頭をもたげ始めた。「人間にとっての美術とはいったい何か」「教育における美術とはいったい何か」という学生以来からの永遠のテーマが私の感情を刺激してきた。そうした中、JICA（国際協力機構）は平成14年度から現職教員特別参加制度をスタートさせた。現職教員を国際協力の舞台に派遣し、帰国後の日本の教育現場での活動に生かすシステムを誕生させ活動の機会を与えた。この制度を知った時、私は「これだ」と心の中で叫んだのを憶えている。「美術とはいったい何か」さらに今まで培った自らの教師経験、教育指導技術や専門美術のスキルが異国の地でどこまで通用するか、またそこから見出される「何か」は新たな美術教育の方向付けの発見へと繋がるにちがいないという直感した。そして、新たな課題を見出し、今後の教師生活に役立てたいと感じた。実は高校時代に青年海外協力隊の説明会を聞きに行った経緯が私にはある。その時の印象は「やはり、自分で何か特別な技術や伝えたいものを持っていないと活動は難しい」というものであった。あれから、十数年忘れかけていた「国際協力」への情熱が再燃し、こうして活動に行くことができ、自分なりに成果を得ることができた。グローバルな視点でかつダイナミックに世界を感じることができたことは大きな収穫である。あの時の高校生だった私に戻ったような、昔の自分に出会えたような気がした。JICA とのこうした繋がりに何かしらの「運命」や不思議な「縁」を感じている。夢は叶うのである。

私は、平成15年7月（2002）～平成17年3月（2005）、南部アフリカに位置するジンバブエの首都ハラレにある Highlands School において Art Teacher として活動した。Highlands School はジンバブエが1980年に独立する以前の宗主国、英国時代の A School、つまり白人学校である。開発途上国の教育現場というと何か田舎の学校で何もないようなところでの活動ばかりが目立つし、イメージされるが、私の活動先はそうした学校とはまるで正反対であった。Highlands School では今までいた専任美術教師が、ジンバブエの政情悪化で、国を捨て、オーストラリアに移住した。当然、美術を専門で学んだ白人教師であった。そのあと、採用した黒人教師はその美術指導の技術のなさから、保護者や生徒から不評を買い、2タームを待たずに解雇された。後任専任美術教師の依頼として、私がその役割を担うこととなった。そして活動先となった。ジンバブエの教育課程は英国式の教育を踏襲している。Highlands School はまさに英国のパブリック・スクールそのものであった。ジンバブエの教育

制度は英国の教育制度を受け継いでいるため、小学校では Grade 7（日本では小学6年生）時には、全国統一試験が実施される。さらに、Secondary School においては、O レベル、A レベルの統一試験が実施され、この成績結果によりその後の高等教育への進路や就職に大きく左右される。やはり、開発途上国においても教育は重要である。

さて、私の活動は、Highlands School の Grade 3 (日本では小学2年生)～Grade 7 (日本では小学6年生)までの5学年、各学年4クラス、合計20クラスに教育課程の「Art/Craft」を各クラス週2単位時間、教えることである。当初からカウンターパートは存在しない。私は主任美術教師であり、美術のエキスパートとして学校長をはじめ同僚から見られていた。実際に「美術」を教えてみて、1番驚いたことは、Highlands School では、「専任美術教師」の席があり、カリキュラムの中で、週2単位時間「Art/Craft」の授業を実施しているが、ジンバブエの国中の他の小学校約4800校では、実際問題「Art/Craft」という科目はほぼ100%実施されていない。つまり、「美術」の授業がないのである。このことは、ある程度は予想されていたことであるが、こうして現状を実際に見てしまうと果たして、人間にとっての「美術とはいったい何か」という問題を真正面から考えさせられた。つまり、開発途上国の教育における優先順位は「生死」に関わる教育、つまりそれは「生きる」ための教育であり、あるいは「生きていく」ための教育が最優先であることを意味する。「美術」を学ぶより大切なこと、それは「読み・書き・そろばん」である。つまりは、ジンバブエの大半の小学校、特にルーラル（地方）の学校では授業はそのほとんどを「ショナ語（母国語）・英語（公用語）・算数／数学」の獲得に費やし実施されているのが現状である。実際、ジンバブエの小学校で「専任美術教師」が存在したのは、私が活動した Highlands School であり、ほぼ、99.99%の学校では「美術」の授業がなされていなかった。私の活動は、ごく限られた特殊な学校、特殊階級の子弟が学んでいる Highlands School での活動であったことをここに明記する。しかし、こうした学校であるにも関わらず、教育環境の現状はそんなに甘くない。教材がない、絵の具がない、材料がない。このような状況は私に「プロ意識」を奮い立たせた。日本で美術教師としてきた今までの経験や技術を総動員し、自らのテーマ「美術とはいったい何か」という「美術との対話」へと導いた。そして、Highlands School で出会う子供たちに「美術」の楽しさを教えることであった。ものがなくても何かしらの工夫で「美術」を教えることの大切さを実感した。日本のように、画材や材料がすぐに手に入れることが難しく、いくらジンバブエ No.1 スクールでも、絵の具の注文からそれを実際に手に入れるのに4ヶ月を要した。しかし、授業はしなくてははいけない。毎日、毎日が自分との戦いであった。週全体が45時間中、私の持ち時間数が38時間とほとんど毎日授業をしなくてははいけない。それも、5学年あるので、当然子供の発達段階を考えた美術教材を考えて授業実践しなくてははいけない。毎朝5時に起床し、授業の準備や教材の確認、授業の流れをイメージしながら、7時には自室を出て、美術室へと向う。1日の授業が終わり、学校内の寄宿舎（ホステル）の自室に戻るとぐったりとベッドになだれ込むのが常だった。汗臭いベッドの匂いの中、「明日の授業は何をしよう」といつも考えていた。とにかく、画材がなく、紙も「ブラウン・ペーパー」と呼ばれる粗悪な紙しか学校では入手できない。私の美術授業は「絵画」「デザイン」

「工作」「工芸」の4分野に分け、バランスよくそして体系的に美術指導することを自分のテーマとした。私が、Highlands Schoolで、実施した美術教材の合計は194、美術教材の種類は151であった。成功した教材もあれば、失敗した教材もある。私にとって、この教材開発が活動における自分の大きな成果となっている。子供たちも実際に私の美術授業から学んだ美術教材や「美術」の楽しさを感じてくれたに違いない。それが自分の自信となっている。やはり、現職教員として参加していること、その「アイデンティティ」それは、「プロフェッショナリズム」を持ち、その意識でどのような状況でも自分の未知なる力をいかに発揮し実行できるかどうか。「美術とはいったい何か」という問いかけに対し、何かを掴んだような実感はある。成功した授業もあれば、失敗した授業もある。子供の楽しそうな笑顔もあれば、「Boring(退屈だ)」と言って、遊び出す子供もいた。

こんなエピソードもあった。活動を始めたある日、授業が終わってから、Grade 3(日本でいう小学2年生)の男の子が、授業終了後私の所に来て、「Mr.GODNGI,I had a good time.Your Art Lesson was very nice.」と言って、私に ZW\$ 50 (当時、ジンバブエで瓶コーラが同等の値段)の紙幣を差し出した。始めは、その意味がわからず、お金でも拾ったのかと思ったが、これは、英国流のスタイルでチップを差し出したのである。英国人の特権階級がする日常のスタイルである。小学校2年生のちっちゃな子供が紳士らしく振舞ったのである。「ありがとう。でもお金はいらないよ」と言う私のことば聞いて、ちょっとがっかりした彼の顔を今でも覚えている。彼の何かを伝えたい気持ちがうれしかった。当時、Highlands School は白人の教師も多く、生徒も全校700人のうち、250人くらいが白人生徒であった。こうして、アフリカにあるジンバブエでありながら、Highlands School にいると、ある種英国の名門パブリック・スクールにいるかのような錯覚に陥ることもしばしばあった。美術教育の活動以外にも、ジンバブエの辿った歴史や文化、それに当時の政治状況を目の当たりにした。さらに黒人コミュニティや白人コミュニティの両面を見ることができた。ジンバブエでの活動は予想以上に大きなものを学んだ気がする。その他、タームごとに実施される音楽会や演劇のための舞台美術を一人で描いた。その大きさは高さ5m、幅20mであり、この大きなキャンバスを一人2日間で描いた。学校長や同僚の驚愕の眼と感謝の念を今でも憶えている。現職の美術教師という自負がある。ハラレの郊外にある Seke Teachers College で特別美術講座を受け持ち、幼稚園や小学校の教員の卵に学校で使える教材などを教えた。

苦しい活動の中でも異国の地で私を支えられたものは「子供たちの笑顔」であり、子供たちの楽しそうに作品を作っている姿である。確かに、ジンバブエの0.01%の名門学校での活動であったが、おそらく、私が教えた子供たちはこれから20年後、ジンバブエを支える人物になり、中には、国を動かす人材になっているかもしれない。彼等の脳裏に Highlands Schoolでの美術授業、ほんの短い間だったが、「Mr.Godengi」という日本人から学んだ「美術のこころ」が残っていれば、これこそ「日本とジンバブエ」の国際協力の架け橋になるに違いない。彼らの中ではきっと「日本人美術教師、Mr.Godengi」の姿が焼きついているはずだ。ちなみに、2004年にアテネ・オリンピックで、ジンバブエに25年ぶりのゴールドをもたらした女子水泳選手、Kirsty Conventry は我が校の卒業生である。

平成17年4月から現場に復帰し、今までに合計9回の講演や体験発表をした。佐渡高等学校や羽茂高等学校での「総合的な学習の時間」や JICA の主催するセミナーやシンポジウム、さらには、教育研究会での発表である。発表の機会を得ることは、自分の活動を客観的に見ることができる。自分の活動に対し新たな課題や問題点を考えることが可能である。現在、私は高校での美術授業で「五感を使った美術表現」というテーマで独自に教材を開発し、授業実践している。今度は、ジンバブエでの活動体験を生かし、日本の「美術」教育の中で、ジンバブエでのあの苦しくもキラキラとした日々を生かしていきたい。私自身もう一度「美術との対話」に挑もうと思っている。



ー学校の概要ー

●HIGHLANDS SCHOOL (INFANT・JUNIOR) 創立 1945 年

●教員数 (32 名)

Head(1)、Vice-Head(1)、Grade3(4)、Grade4(4)、Grade5(4)、Grade6(4)、Grade7(4)、Sports (2)、Music(1+1)、Art(1:五傳木浩樹)、Shona(2)、Library(1)、Remedial(1)、Computer(1)

【2003 年】黒人教員：19 名、白人教員 11 名、日本人教員 2 名 (JOCV)

【2004 年】黒人教員：29 名、白人教員 1 名、日本人教員 2 名 (JOCV)

【2005 年】黒人教員：29 名、白人教員 1 名、日本人教員 2 名 (JOCV)

●生徒数 約 700 名 HIGHLANDS (JUNIOR) SCHOOL

●Grade3(4 クラス) Grade4 (4 クラス) Grade5(4 クラス) Grade6(4 クラス)
Grade7(4 クラス) 全 20 クラス

【2003 年 3rd Term】黒人生徒 70%、白人生徒 30%

【2004 年 1st Term】黒人生徒 85%、白人生徒 15%

【2004 年 2nd Term】黒人生徒 90%、白人生徒 10%

【2004 年 3rd Term】黒人生徒 93%、白人生徒 7%

【2005 年 1st Term】黒人生徒 98%、白人生徒 2%

●1997 年ユネスコ主催『Children's Summit』英国参加ジンバブエ国代表校(1 校)

●2004 年アテネ・オリンピック 水泳ゴールド・メダリスト

Kirsty Conventry 出身学校

ー活動の内容ー

●役職：Art Teacher (主任美術教師)

●活動内容：Grade3～Grade7（日本の小学校2年～6年）

全20クラスの美術授業担当（1クラス週2時間）Extra Art Lesson

●活動授業持ち時間：美術授業36時間＋アッセンブリー2時間 合計38時間

Highlands Junior School : Art Time Schedule 2004 Hiroki GODENGI

		Monday	Tuesday		Wednesday	Thursday	Friday	
1	7:45 8:15				Assembly		Assembly	
2	8:15 8:45		5T Mr. Tomu		4MT Mrs. Dongo	6H Mr. Hwindiri	4M Miss Mwenje	
3	8:45 9:15							
4	9:15 9:45	3MD Mrs. Madziwana	6C Mrs. Chiodze		7G Mrs. Gambara	7T Mr. Tarangeyi	4MB Mrs. Mabika	
5	9:45 10:15							
	10:15 10:45	B R E A K						
6	10:45 11:15	4J Mrs. Jenami	Hymn singing		7M Mr. Mhlanga	3R Mrs. Rubaba	3MK Mrs. Makombe	
7	11:15 11:45							
8	11:45 12:15	5C Mrs. Chikonyora	5Z Mrs. Zhou	7V Mrs. Vilika	5D Mr. Dutlow	6CA Mrs. Chirau	6M Mr. Muza	3ML Miss Mlambo
9	12:15 12:45							
	12:45 13:00							

授業実践した美術教材（194の美術教材、151種類の美術教材）

●3rd Term 2003（32種類の美術教材）

【絵画】 自由画、リアル・ドローイング、案山子の絵、蝶づくり、私の眼には何が映る？

ジャカランダの木 ⑥

【デザイン】 マーブリング、スパッタリング、スクール・ユニフォームデザイン、リーフプ

リンティング、コラージュ、象形文字から発想する、名前を使ったデザイン ⑦

【工作】 動くおもちゃ、風車づくり、ねずみ凧、面づくり、キャンドルづくり、フルートづくり、葉っぱづくり、テレビづくり ⑧

【工芸】 紙飛行機（長距離タイプ・長飛行タイプ）、折り紙（鶴、風船、容器、孔雀、帽子、兜）、ラッピングカード、動く折り紙、雪型づくり ⑫

●1st Term 2004（26種類の美術教材）

【絵画】 長い紙を使ったグループ絵画、リアルな表現（動物）、リアルな表現（友達）、リアルな表現（雑誌）、リアルな表現（花）、リアルな表現（学校）、リアルな表現（木炭を使った表現）、抽象絵画、笑い（私は誰かと笑うのが好き）、笑い（私を笑わせるのは何）、笑い（世界はあなたと一緒に笑う）、友情（ベスト・フレンド）、友情（友達と一緒にどこかに行った）、友情（必要な友達こそ真である）⑭

【デザイン】 スパッタリング（昆虫）、スタンピング（昆虫）、デカルコマニー（昆虫）③

【工作】 めがねを作ろう（サングラス・めがね）、竹とんぼを作ろう、家やホテルを作ろう、鋏を使ったデザイン（蝶・帽子・花）⑦

【工芸】 スピニング・ペーパー（編むタイプ・切るタイプ）②

●2nd Term 2004（44種類の美術教材）

【絵画】 テレビには何が映っている、リアルな表現（日本の新聞を使用）、リアルな表現（雑誌）、現在の私15年後の私、車、バス、コンビニ、家を作ろう（窓・ドア）ホテルを作ろう（窓・ドア）、フェンスのある家、フェンスの後ろに見えるもの、好きなスポーツを描こう、日本とジンバブエ、コラージュ絵画、⑭

【デザイン】 レタリング（ゴシック）、レタリング（変形ゴシック）、バルーン・レター、カタカナとひらがなを使用した構成デザイン、アルファベットを使って面白い顔を描こう、フロッタージュ（葉っぱ）、バチック、マーブリング ⑧

【工作】 ボート制作、町を作ろう、竹とんぼを作ろう、山を登る人、ピストル・拳銃、パラシュート、お面、指輪、ヘッドホン、バッグ ⑩

【工芸】 カラー風船、カッティングペーパー（くらげ）、カッティングペーパー（網）カッティングペーパー（ハート）、孔雀、羽ばたく鶴、容器（星）、容器（ペンケース）、容器（四角）、容器（蓋開く）マジック絵画、紙鉄砲 ⑫

●3rd Term 2004（46種類の美術教材）

【絵画】 音楽を聴いて描く「春よ、来い」松任谷由実、音楽を聴いて描く「アリよ、さらば」矢沢永吉、コラージュと絵画の融合表現、ビクトリア・フォールズをつくろう ④

【デザイン】 転がし版画、コラージュ：雑誌から文字を切り取る、コラージュ：動物、コラージュ：雨、発泡スチロール版画、迷路をつくろう、内側と外側、コラージュと絵画、（昆虫）、スタンピング（昆虫）、デカルコマニー（昆虫）⑩

【工作】 剣、マッチ箱で筆筒を作ろう、衣服、凧、財布、帽子：王様、帽子：お姫様、帽子：料理人、帽子：兵隊、新聞紙でバッグをつくる、新聞紙でバッグをつくる、めがねを作ろう（サングラス・めがね）、竹とんぼを作ろう、家やホテルを作ろう、

鉄を使ったデザイン（蝶・帽子・花）、⑮

【工芸】 クリスマス・カード、ポップ・アップ・カード：糸、ポップ・アップ・カード：開く、カッティングペーパー（くらげ）、カッティングペーパー（網）、カッティングペーパー（ハート）、孔雀、羽ばたく鶴、容器（星）、容器（ペンケース）、容器（四角）、容器（蓋開く）、容器（四角）；バッグ、容器（四角）：ディバッグ ⑭

●1st Term 2005（46種類の美術教材）

【絵画】 リアル・ドローイング：友人の顔、自由制作：複合表現、自由画、リアル・ドローイング、毛糸を使った絵画：ボール、毛糸を使った絵画：木 ⑥

【デザイン】 立体カード：星、立体カード：ハート、立体カード：クラブ、立体カード：スペード、立体カード：ダイヤ、立体カード：ケーキ、立体カード：男の子、女の子、立体カード：ハイランズ・スクール、立体カード：オリジナル、砂のアルファベット、糸を使ったデカルコマニー、三原色、コラージュ：面白い顔、リーフプリンティング、コラージュ、⑯

【工作】 箱を使ったバッグ：クロス、箱を使ったバッグ：一つ入れ、箱を使ったバッグ：二つ入れ、

箱を使ったバッグ：オリジナル ④

【工芸】 紙飛行機（長距離タイプ・長飛行タイプ）、折り紙（鶴、風船、容器、孔雀、帽子、兜）、ラッピングカード、動く折り紙、雪型づくり、編み物、紙を使った編み物ベルト、女王冠、バングル、リング、イヤリング、ノースリング、レッグリング、ティースブロック、ペーパーワーク：オープン箱、星の箱 22







舞台美術制作（20m×5m）

● 3rd Term 2003 『雪山』（クリスマス・コンサート）

制作：平成15年11月14日（金）15日（土）16日（日）



● 1st Term 2004 『ひまわり畑』（音楽会）

制作：平成16年3月26日（金）27日（土）28日（日）



● 2nd Term 2004 『ノアの箱舟』（演劇）

制作：平成16年7月24日（土）25日（日）



● 3rd Term 2004 『キリスト誕生』（クリスマス・コンサート）（演劇）

制作：平成 16 年 11 月 6 日（土）7 日（日）



ジンバブエの美術教育 ー国際協力から見たものー

新潟県立佐渡高等学校

美術科 教諭 五傳木 浩樹

アフリカ



ジンバブエ



ジンバブエの国旗



ジンバブエ事情

- 国名: ジンバブエ共和国 (Republic of Zimbabwe) 2005.4現在
- 面積: 39万km² (日本よりやや大きい)
- 人口: 1,257万人 (2003年推定)
- 人口増加率: 1.7% (99～2000年: 世銀)
- 首都: ハラレ (187万人: 97年推定)、標高1,500m
- 人種: ショナ族 (75%)、ンデベレ族 (20%)、白人 (1%)
- 言語: 英語、ショナ語、ンデベレ語
- 宗教: 部族宗教、キリスト教
- 国祭日: 4月18日 (独立記念日)

ジンバブエの歴史

- 1923年英国の自治植民地としての南ローデシア成立
- 1953年ローデシア・ニアサランド連邦成立
- 1963年連邦解体
- 1965年白人スミス政権の一方的独立宣言
- 1968年国連安保理対ローデシア経済制裁決議採択
- 1972年ローデシア解放団体、ゲリラ活動開始
- 1979年独立に向けて平和的解決合意
- 1980年ジンバブエとして独立、ムガベ首相就任
- 1987年ムガベ大統領就任
- 1990年ムガベ大統領再選
- 1996年ムガベ大統領三選
- 2002年 (3月) ムガベ大統領四選

ジンバブエの経済

経済(単位: 米ドル)

(農) たばこ、砂糖、メイズ、綿花

(鉱) クローム、アスベスト、ニッケル、金

(工) 食品加工、金属製品、機械

57億米ドル(2003年:世銀) 450米ドル(2003年:世銀)

12.1% (2002年推定) 395.6% (2004年6月:政府統計)

71% (2001年:政府統計)

(1) 輸出 2,124百万

(2) 輸入 1,713百万

(1) 輸出 たばこ、金、鉄合金、綿花

(2) 輸入 機械類、化学品、石油、自動車

(1) 輸出 南ア(10.4%)、英(9%)、マラウイ(8.1%)、ボツワナ(7.5%)

(2) 輸入 南ア(46%)、英(5.6%)、中(3.8%)、独(3.6%) ジンバブエドル

(ZWD) 1米ドル=824ZWD (2005年1月公定レート)

I 現地の様子、現地での活動

- 1 ジンバブエの教育
- 2 Highlands School
- 3 美術授業の実際
- 4 Seke Teachers College
- 5 特別美術講座の実際
- 6 現地の芸術家との交流

ジンバブエの教育

Pre-School

(3~5歳程度)

Primary School

Grade1~Grade7

(6歳~12歳)

Secondary School

Form1~Form6

(13歳~18歳)

O Revel: Form4修了(全国統一テスト:中卒程度)

A Revel: Form6修了(全国統一テスト:高卒程度)

College

2年

Technical

2年

University

3年~4年

Highlands Junior School
Harare, ZIMBABWE

ART TEACHER
Hiroki GODENGI

2006/3/29

10

学校概要(教員)

- HIGHLANDS SCHOOL (INFANT-JUNIOR)
- 創立 1945年
- 教員数(32名)
Head(1), Vice-Head(1), Grade3(4), Grade4(4), Grade5(4), Grade6(4), Grade7(4), Art(1:五徳木清樹), Sports (2), Music(1+1:), Computer(1), Shona(2), Library(1), Remedial(1),
- [2003年]
黒人教員:19名、白人教員11名、日本人教員2名
- [2004年]
黒人教員:29名、白人教員1名、日本人教員2名
- [2005年]
黒人教員:29名、白人教員1名、日本人教員2名



2006/3/29

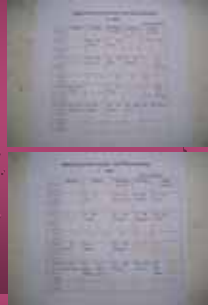
学校概要(生徒)

- 生徒数 約700名
- Grade3(4クラス) Grade4(4クラス)
Grade5(4クラス) Grade6(4クラス)
Grade7(4クラス)
全20クラス
- [2003年]
黒人生徒70%、白人生徒30%
- [2004年]
黒人生徒90%、白人生徒15%
- [2005年]
黒人生徒98%、白人生徒2%
- 1997年 ユネスコ主催
"Children's Summit" 参加
ジンバブエ代表校



活動の実際

- 役職: Art Teacher
- 活動内容:
Grade3~Grade7
全20クラスの美術授業担当 (1クラス週2時間)
- 持ち時間: 美術授業36時間
+アセンブリー2時間
合計38時間
特別活動 Extra Art



2006/3/29

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
1	7:45-8:15		Assembly		Assembly
2	8:15-8:45	ST. Mr. Taka	Art Mr. Matsuyama	ST. Mr. Hwidi	Art Mr. Matsuyama
3	8:45-9:15				
4	9:15-9:45	ST. Mr. Matsuyama	ST. Mr. Taka	ST. Mr. Taka	ST. Mr. Matsuyama
5	9:45-10:15				
	10:15-10:45	B R E A K			
6	10:45-11:15	ST. Mr. Taka	Hymn singing	ST. Mr. Matsuyama	ST. Mr. Matsuyama
7	11:15-11:45				
8	11:45-12:15	ST. Mr. Matsuyama	ST. Mr. Taka	ST. Mr. Matsuyama	ST. Mr. Matsuyama
9	12:15-12:45				
	12:45-1:00				

美術授業1 美術教材

- 3rd Term 2003 (32種類)
- [絵画]** 自由画、リアル・ドローイング、泰山子の絵、蝶づくり、私の眼には何が映る?、ジャカランダの木
- [デザイン]** マーブリング、スパッターリング、スクール・ユニフォームデザイン、リーフプリンティング、カラー・ジュ、象形文字から発想する、名前を使ったデザイン
- [工作]** 動くおもちゃ、風車づくり、ねずみ風、面づくり、キャンドルづくり、フルーツづくり、葉っぱづくり、テレビづくり
- [工芸]** 紙飛行機 (長距離タイプ・長飛行タイプ)、折り紙 (鶴、風船、容器、孔雀、帽子、兜)、ラッピングカード、動く折り紙、雪型づくり

美術授業2 美術教材

- 1st Term 2004 (26種類)
- [絵画]** 長い紙を使ったグループ絵画、リアルな表現 (動物)、リアルな表現 (友達)、リアルな表現 (雑誌)、リアルな表現 (花)、リアルな表現 (学校)、リアルな表現 (木炭を使った表現)、抽象絵画、笑い (私は誰かと笑うのが好き)、笑い (私を笑わせるのは何)、笑い (世界はあなたと一緒に笑う)、友情 (ベスト・フレンド)、友情 (友達と一緒にどこかに行った)、友情 (必要な友達こそ真である)
- [デザイン]** スパッターリング (昆虫)、スタンピング (昆虫)、デカルコマニー (昆虫)
- [工作]** めがねを作ろう (サングラス・めがね)、竹とんぼを作ろう、家やホテルを作ろう、鉄を使ったデザイン (蝶・帽子・花)
- [工芸]** スピニング・ペーパー (編むタイプ・切るタイプ)

美術授業3 美術教材

- 2nd Term 2004 (44種類)
- [絵画]** リアルな表現 (日本の新聞を使用)、リアルな表現 (雑誌/コラージュ)、現在の私と15年後の私、車を作ろう、バスを作ろう、コンビを作ろう、家を作ろう (窓・ドア)、ホテルを作ろう (窓・ドア)、フェンスのある家、フェンスの後ろに見える、好きなスポーツを描こう、日本とジンバブエ、マジック絵画、ポート制作、町を作ろう、紙鉄砲、山を登る人、ピストル・拳銃、パラシュート、お面、指輪、ヘッドホン、バッグ、カラー風船、ジンバブエから想像する
- [デザイン]** フロッタージュ (葉っぱ)、パチック
- [工作]** ねずみ風、面づくり、フルーツづくり、葉っぱづくり、テレビづくり
- [工芸]** 紙飛行機 (長距離タイプ・長飛行タイプ)、折り紙 (鶴、風船、容器、孔雀、帽子、兜)、ラッピングカード、動く折り紙

美術授業4 美術教材

- 3rd Term 2004 (46種類)
- [絵画]** 音楽を聴いて描く「春よ、来い」松任谷由実、音楽を聴いて描く「アリよ、さらば」矢沢永吉、コラージュと絵画の融合表現、ピクトリア・フォールズをつくらう
- [デザイン]** 転がし版画、コラージュ: 雑誌から文字を切り取る、コラージュ: 動物、コラージュ: 雨、発泡スチロール版画、迷路をつくらう、内側と外側、コラージュと絵画、(昆虫)、スタンピング (昆虫)、デカルコマニー (昆虫)
- [工作]** 剣、マッチ箱で筆箱を作ろう、衣服、風、財布、帽子: 王様、帽子: お姫様、帽子: 料理人、帽子: 兵隊、新聞紙でバッグをつくらう、新聞紙でバッグをつくらう、めがねを作ろう (サングラス・めがね)、竹とんぼを作ろう、家やホテルを作ろう、鉄を使ったデザイン (蝶・帽子・花)
- [工芸]** クリスマス・カード、ポップ・アップ・カード: 糸、ポップ・アップ・カード: 開く、カッティングペーパー (くらげ)、カッティングペーパー (網)、カッティングペーパー (ハート)、孔雀、羽はたく鶴、容器 (皿)、容器 (ペンケース)、容器 (四角)、容器 (蓋開く)、容器 (四角)、バッグ、容器 (四角): ティバッグ

美術授業5 美術教材

● 1st Term 2005 (46種類)

[絵画] リアル・ドローイング:友人の顔、自由制作:複合表現、自由画、リアル・ドローイング、毛糸を使った絵画:ボール、毛糸を使った絵画:木

[デザイン] 立体カード:星、立体カード:ハート、立体カード:クラブ、立体カード:スペード、立体カード:ダイヤ、立体カード:ケーキ、立体カード:男の子、女の子、立体カード:ハイランズ・スクール、立体カード:オリジナル、砂のアルファベット、糸を使ったデカルコマニー、三原色、コラージュ:面白い顔、リーフプリンティング、コラージュ

[工作] 箱を使ったバッグ:バンダ箱を使ったバッグ:一つ入れ、箱を使ったバッグ:二つ入れ、箱を使ったバッグ:クロス、箱を使ったバッグ:一つ入れ、箱を使ったバッグ:二つ入れ、箱を使ったバッグ:クロス

[工芸] 紙飛行機(長距離タイプ、長飛行タイプ)、折り紙(鶴、黒船、喜望、孔雀、椰子、鯛)、ラッピングカード、動く折り紙、食卓づくり、編み物、紐を使った編み物ベルト、女王冠、バンダ、リング、イヤリング、ヘアリング、レッグリング、ティースブロック、ペーパーワーク:オーブン箱、星の箱

授業の実際1

2003年9月 (3rd Team)



授業の実際2

2003年9月 (3rd Team)



授業の実際3

2003年9月 (3rd Team)



授業の実際4

2003年10月 (3rd Team)

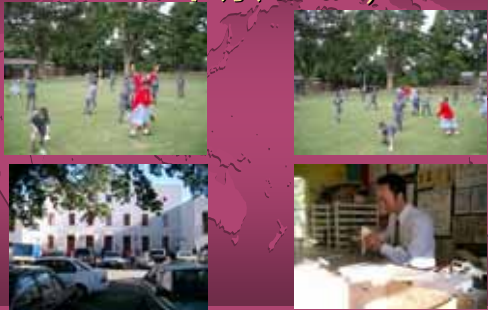


授業の実際5

2003年11月 (3rd Team)



授業の実際6 2004年1月 (1st Team)



授業の実際7 2004年1月 (1st Team)



授業の実際8 2004年2月 (1st Team)



授業の実際9 2004年2月 (1st Team)



授業の実際10 2004年2月 (1st Team)



授業の実際11 2004年3月 (1st Team)



授業の実際12
2004年3月 (1st Team)



授業の実際13
2004年3月 (1st Team)



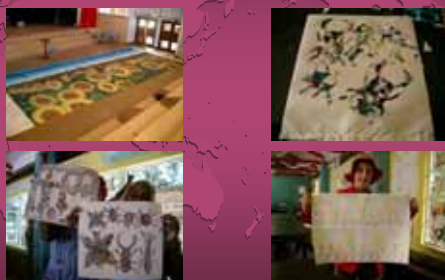
授業の実際14
2004年3月 (1st Team)



授業の実際15
2004年3月 (1st Team)



授業の実際16
2004年3月 (1st Team)



授業の実際17
2004年3月 (1st Team)



授業の実際18 2004年3月 (1st Team)



授業の実際19 2004年3月 (1st Team)



授業の実際20 2004年4月 (1st Team)



授業の実際21 2004年4月 (1st Team)



舞台美術・大壁画制作 (20m×5m) 2003年11月 (3rd Team) 「雪山」

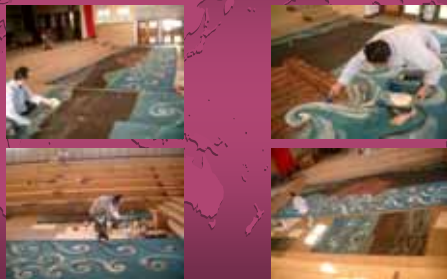


舞台美術・大壁画制作 (20m×5m) 2004年3月 (1st Team) 「ひまわり畑」



舞台美術・大壁面制作 (20m×5m)

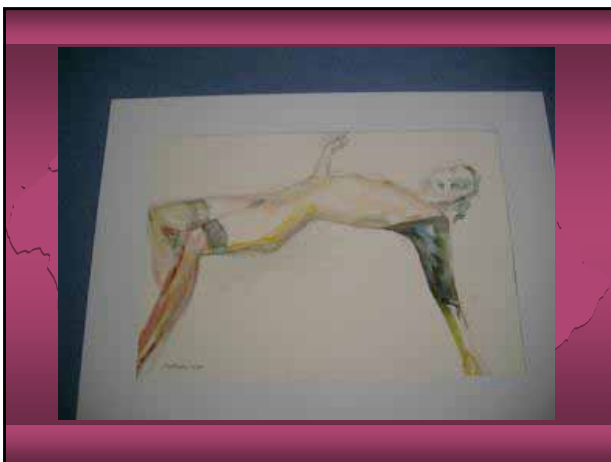
2004年7月 (2nd Team) 「Noah」



舞台美術・大壁面制作 (20m×5m)

2004年11月 (3rd Team) 「キリスト誕生」







活動計画

2003年における美術授業計画
[3rd Term] 発達段階把握と現状把握
絵画・デザイン、工作・工芸表現を中心とした美術授業の展開

2004年における美術授業計画
[1st Term] 絵画表現を中心とした美術授業の展開
[2nd Term] デザイン表現を中心とした美術授業の展開
[3rd Term] 工作・工芸表現を中心とした美術授業の展開

2005年における美術授業計画
[1st Term] 複合表現を中心とした美術授業の展開

2004年における美術指導計画
①こどもの「発達段階」を考慮に入れた美術教材開発、美術教材づくり並びに一人一人とのコミュニケーションを大切に美術指導
②体系的な美術教材の開発並びに指導法の実践
③実際に指導した美術教材のテキスト作成
④各クラス担任との指導内容や指導法についての相談並びに意見交換

体系的な美術教育

● [絵画] 1st Term 2004 Grade6-7 (写真表現の芽生え)

想像 (1時間) 想像画・自由画 想像・空想 スキルの差 線	→	模写 (1時間) 模写・臨画 物を模る 仮想の真物 線・色・明暗	→	実物・真像 (1時間) 写真画 物をよく模る 本物 線・色・立体感・ 明暗・動勢・量感 空間(五感) 友人・花・風景
		写真・雑誌		

活動の成果

- 自由な創造性の経験
- 発達段階における美術のスキルの習得
- 体系的な美術教育の経験
- 「美術との対話」

実施授業総時数 2300
美術教材実施 194 美術教材 151種類

ジンバブエの世界遺産

- 1 マナ・プールズ国立公園、サビとチュウォールのザファリ地区
自然遺産
- 2 大ジンバブエ国立遺跡
文化遺産
- 3 カミ遺跡群国立公園
文化遺産
- 4 マトボ丘陵
文化遺産
- 5 ビクトリアの湾
自然遺産

SEKE TEACHERS COLLAGE



現地の芸術家との交流

● Mikeとの出会い

ジンバブエのデザイナー

「Hiroki, Art Teacher is an Artist, so you must make many works, you should...」



II ジンバブエの美術教育

- 1 学校教育における美術教育
- 2 英国式美術教育
- 3 日本式美術教育
- 4 ジンバブエの美術教育

学校教育における美術教育

- 学校教育に美術教育が存在することの意義
- 学校教育に美術教育が存在することの必要性
- 開発途上国においては学校教育に美術教育は存在しないという現実
- 日本の学校教育において美術教育がめざすもののリアリティーの模索

英国式美術教育

- 理念：「技能」習得優先と模写教育
- 美術＝「技能」(スキル)という感覚

日本式美術教育

● 芸術科の指導目標

「芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う」

- ① 幅広い活動
- ② 芸術を愛好する心情
- ③ 感性を高める
- ④ 芸術の諸能力を伸ばす
- ⑤ 豊かな情操を養う

ジンバブエの美術教育

- ジンバブエ独自の「美術教育」は存在しない。
- ジンバブエにおいては、旧宗主国の英国式の「美術教育」が存在する。
- 英国式の「美術教育」は、もともとはA School(白人学校)のために存在した。
- 1980年(ジンバブエ独立)以前、B School(黒人学校)には、「美術教育」は存在しなかった。
- 現在のジンバブエの学校教育における「美術教育」は英国式の「美術教育」を基本とし、それを踏襲している。
- 「Art/Craft」の授業はカリキュラムに存在するが、99.99%授業は実施されていない。

III 今後の日本における美術教育のあり方

- 1 現状と課題
- 2 「技術」と「創造」
- 3 人間にとっての「美術」とは
- 4 「美術」との対話
- 5 新たな教科指導への試み

現状と課題

- 学校教育における「美術」教育の意義
- 「美術」教育がめざすもの
こどもに「何」を見出すか
教師としての「研鑽・修練」の必要性
- 「美術」教師としての存在意義
- 「美術教師」は「作家」なのかどうか

「技術」と「創造」

- 基礎基本としての「技術」の習得
- 一人一人の個性を導き出す「創造」的造形活動の経験

人間にとっての「美術」とは

- 「表現」
- 「鑑賞者」「作家」
- 「売り手」「買い手」
- 永遠の課題
- 自らに常に問いただす
「人間にとっての美術とは」
「美術教師とは」

「美術」との対話

- 「美術」との対話
- 「自分」との対話
- 「他人」との対話
- 「時代」との対話
- 「社会」との対話
- 「神」との対話(グローバルな視点)

新たな教科指導への試み

- 2005年からの美術指導
佐渡高等学校 美術教育教材開発
『五感を使った美術表現の試み』

五感: 視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚

六感: 直感

国際協力で見えたもの

- 「持続可能な」協力「持続可能な」援助
- 日本とは、日本人とは
- 日本の中における世界、
世界の中における日本
- 自分を知る、他者を知る
(未知なる世界との遭遇)
- 国際理解、グローバルな視野

平成17年度 文部科学省・筑波大学 国際教育協力シンポジウム
「開発途上国における派遣現職教員の活躍」 一帰国隊員報告会一



日時： 平成18年1月7日(土) 14:15～14:45

会場： 一橋記念講堂 学術総合センター内

体験発表：『ジンバブエの美術教育 一国際協力から見たもの一』

発表者： 新潟県立佐渡高等学校 美術科教諭 五傳木 浩樹 (GODENGI Hiroki)

平成15年度1次隊 ジンバブエ 小学校教諭 (現職教員特別参加制度)



2003年4月～2005年3月までの2年間、JICA(独立行政法人 国際協力機構)の現職教員特別参加制度により、新潟県教育委員会から推薦を受けて海外派遣。

現地の教育現場、現地の学校で教鞭をとる。アフリカ南部に位置するジンバブエの首都ハラレにある、ジンバブエ随一の名門公立小学校(かつての宗主国英国においての A School: 白人学校)の ART TEACHER(専任美術教師)として活動。現地の子供たちに、現地の学校で、現地語を使って美術(ART/CRAFT)を教える。いわゆる日本国の所有管理運営する海外の日本人学校ではない。その他、ジンバブエの教育大学で特別美術講座を担当。

国名 ジンバブエ共和国 (Republic of Zimbabwe) 2005.4 現在

面積 39万 km² (日本よりやや大きい)

人口 1,257万人 (2003年推定)

人口増加率 1.7% (99～2000年: 世銀)

首都 ハラレ (187万人: 97年推定)、標高 1,500m

人種 ショナ族 (75%)、ンデベレ族 (20%)、白人 (1%)

言語 英語、ショナ語、ンデベレ語

宗教 部族宗教、キリスト教

国祭日 4月18日 (独立記念日)



【ジンバブエの歴史】

1923年 英国の自治植民地としての南ローデシア成立

1953年 ローデシア・ニアサランド連邦成立

1963年 連邦解体

1965年 白人スミス政権の一方的独立宣言

1968年 国連安保理対ローデシア経済制裁決議採択

1972年 ローデシア解放団体、ゲリラ活動開始

1979年 独立に向けて平和的解決合意

1980年 ジンバブエとして独立、ムガベ首相就任

1987年 ムガベ大統領就任

1990年 ムガベ大統領再選

1996年 ムガベ大統領三選

2002年(3月) ムガベ大統領四選

【ジンバブエの教育制度】

Pre-School (3歳～5歳程度)

Primary School Grade1～Grade7 (6歳～12歳)

Secondary School Form1～Form6 (13歳～18歳)

O Revel: Form4修了(全国統一テスト: 中卒程度)(13歳～15歳)義務教育終了

A Revel: Form6修了(全国統一テスト: 高卒程度)(16歳～18歳)

College 2年 (18歳～)

Technical 2年 (18歳～)

University 3年～4年 (18歳～)

Highlands Junior School : Harare, ZIMBABWE

独立行政法人国際協力機構（JICA）/青年海外協力隊（JOCV） 五傳木浩樹（平成15年度第1次隊）



—学校の概要—

- HIGHLANDS SCHOOL (INFANT・JUNIOR) 創立 1945 年
- 教員数 (32 名)
Head(1)、Vice-Head(1)、Grade3(4)、Grade4(4)、Grade5(4)、Grade6(4)、Grade7(4)、
Sports (2)、Music(1+1)、Art(1:五傳木浩樹)、Shona(2)、Library(1)、Remedical(1)、Computer(1)
【2003 年】黒人教員：19 名、白人教員 11 名、日本人教員 2 名（JOCV）
【2004 年】黒人教員：29 名、白人教員 1 名、日本人教員 2 名（JOCV）
【2005 年】黒人教員：29 名、白人教員 1 名、日本人教員 2 名（JOCV）
- 生徒数 約 700 名 HIGHLANDS (JUNIOR) SCHOOL
- Grade3(4 クラス) Grade4 (4 クラス) Grade5(4 クラス) Grade6(4 クラス) Grade7(4 クラス)
全 20 クラス
【2003 年 3rd Term】 黒人生徒 70%、白人生徒 30%
【2004 年 1st Term】 黒人生徒 85%、白人生徒 15%
【2004 年 2nd Term】 黒人生徒 90%、白人生徒 10%
【2004 年 3rd Term】 黒人生徒 93%、白人生徒 7%
【2005 年 1st Term】 黒人生徒 98%、白人生徒 2%
- 1997 年 ユネスコ主催『Children's Summit』英国参加ジンバブエ国代表校(1 校)
- アテネ・オリンピック 水泳ゴールド・メダリスト Kirsty Coventry 出身学校

—活動の内容—

- 役職：Art Teacher（主任美術教師）
- 活動内容：Grade3～Grade7（日本の小学校2年～6年）
全 20 クラスの美術授業担当（1 クラス週 2 時間）Extra Art Lesson
- 活動授業持ち時間：美術授業 36 時間＋アッセンブリー 2 時間 合計 38 時間

授業実践した美術教材（194 の美術教材、151 種類の美術教材）

- 3rd Term 2003（32 種類の美術教材）
【絵画】 自由画、リアル・ドローイング、案山子の絵、蝶づくり、私の眼には何が映る？ジャカラ
ンダの木 ⑥
【デザイン】 マーブルリング、スパッタリング、スクール・ユニフォームデザイン、リーフプリン
ティング、コラージュ、象形文字から発想する、名前を使ったデザイン ⑦
【工作】 動くおもちゃ、風車づくり、ねずみ罠、面づくり、キャンドルづくり、フルーツづくり、葉
っぱづくり、テレビづくり ⑧
【工芸】 紙飛行機（長距離タイプ・長飛行タイプ）、折り紙（鶴、風船、容器、孔雀、帽子、兜）、ラ
ッピングカード、動く折り紙、雪型づくり ⑫
- 1st Term 2004（26 種類の美術教材）

【絵画】 長い紙を使ったグループ絵画、リアルな表現（動物）、リアルな表現（友達）、リアルな表現（雑誌）、リアルな表現（花）、リアルな表現（学校）、リアルな表現（木炭を使った表現）、抽象絵画、笑い（私は誰かと笑うのが好き）、笑い（私を笑わせるのは何）、笑い（世界はあなたと一緒に笑う）、友情（ベスト・フレンド）、友情（友達と一緒にどこかに行った）、友情（必要な友達こそ真である）⑭

【デザイン】 スパッタリング（昆虫）、スタンピング（昆虫）、デカルコマニー（昆虫）③

【工作】 めがねを作ろう（サングラス・めがね）、竹とんぼを作ろう、家やホテルを作ろう、鋏を使ったデザイン（蝶・帽子・花）⑦

【工芸】 スピニング・ペーパー（編むタイプ・切るタイプ）②

● 2nd Term 2004（4 4 種類的美術教材）

【絵画】 テレビには何が映っている、リアルな表現（日本の新聞を使用）、リアルな表現（雑誌）、現在の私15年後の私、車、バス、コンビニ、家を作ろう（窓・ドア）ホテルを作ろう（窓・ドア）、フェンスのある家、フェンスの後ろに見えるもの、好きなスポーツを描こう、日本とジンバブエ、コラージュ絵画、⑭

【デザイン】 レタリング（ゴシック）、レタリング（変形ゴシック）、バルーン・レター、カタカナとひらがなを使用した構成デザイン、アルファベットを使って面白い顔を描こう、フロッタージュ（葉っぱ）、バチック、マブリング ⑧

【工作】 ボート制作、町を作ろう、竹とんぼを作ろう、山を登る人、ピストル・拳銃、パラシュート、お面、指輪、ヘッドホン、バッグ ⑩

【工芸】 カラー風船、カッティングペーパー（くらげ）、カッティングペーパー（網）カッティングペーパー（ハート）、孔雀、羽ばたく鶴、容器（星）、容器（ペンケース）、容器（四角）、容器（蓋開く）マジック絵画、紙鉄砲 ⑫

● 3rd Term 2004（4 6 種類的美術教材）

【絵画】 音楽を聴いて描く「春よ、来い」松任谷由実、音楽を聴いて描く「アリよ、さらば」矢沢永吉、コラージュと絵画の融合表現、ビクトリア・フォールズをつくろう ④

【デザイン】 転がし版画、コラージュ：雑誌から文字を切り取る、コラージュ：動物、コラージュ：雨、発泡スチロール版画、迷路をつくろう、内側と外側、コラージュと絵画、（昆虫）、スタンピング（昆虫）、デカルコマニー（昆虫）⑩

【工作】 剣、マッチ箱で筆筒を作ろう、衣服、風呂敷、財布、帽子：王様、帽子：お姫様、帽子：料理人、帽子：兵隊、新聞紙でバッグをつくる、新聞紙でバッグをつくる、めがねを作ろう（サングラス・めがね）、竹とんぼを作ろう、家やホテルを作ろう、鋏を使ったデザイン（蝶・帽子・花）、⑮

【工芸】 クリスマス・カード、ポップ・アップ・カード：糸、ポップ・アップ・カード：開く、カッティングペーパー（くらげ）、カッティングペーパー（網）、カッティングペーパー（ハート）、孔雀、羽ばたく鶴、容器（星）、容器（ペンケース）、容器（四角）、容器（蓋開く）、容器（四角）；バッグ、容器（四角）：ディバッグ ⑭

● 1st Term 2005（4 6 種類的美術教材）

【絵画】 リアル・ドローイング：友人の顔、自由制作：複合表現、自由画、リアル・ドローイング、毛糸を使った絵画：ボール、毛糸を使った絵画：木 ⑥

【デザイン】 立体カード：星、立体カード：ハート、立体カード：クラブ、立体カード：スペード、立体カード：ダイヤ、立体カード：ケーキ、立体カード：男の子、女の子、立体カード：ハイランズ・スクール、立体カード：オリジナル、砂のアルファベット、糸を使ったデカルコマニー、三原色、コラージュ：面白い顔、リーフプリンティング、コラージュ、⑯

【工作】 箱を使ったバッグ：クロス、箱を使ったバッグ：一つ入れ、箱を使ったバッグ：二つ入れ、箱を使ったバッグ：オリジナル ④

【工芸】 紙飛行機（長距離タイプ・長飛行タイプ）、折り紙（鶴、風船、容器、孔雀、帽子、兜）、ラッピングカード、動く折り紙、雪型づくり、編み物、紙を使った編み物ベルト、女王冠、バンダナ、リング、イヤリング、ノースリング、レッグリング、ティースブロック、ペーパーワーク：オープン箱、星の箱 22





舞台美術制作 (20m×5m)

● 3rd Term 2003 『雪山』(クリスマス・コンサート)

制作：平成15年11月14日(金) 15日(土) 16日(日)



● 1st Term 2004 『ひまわり畑』(音楽会) 制作：平成16年3月26日(金) 27日(土) 28日(日)



● 2nd Term 2004 『ノアの箱舟』(演劇) 制作：平成16年7月24日(土) 25日(日)



● 3rd Term 2004 『キリスト誕生』(クリスマス・コンサート) (演劇)

制作：平成16年11月6日(土) 7日(日)



Highlands Junior School : Art Time Schedule 2004 Hiroki GODENGI

		Monday	Tuesday		Wednesday	Thursday	Friday	
1	7:45 8:15				Assembly		Assembly	
2	8:15 8:45		5T Mr. Tomu		4MT Mrs. Dongo	6H Mr. Hwindiri	4M Miss Mwenje	
3	8:45 9:15							
4	9:15 9:45	3MD Mrs. Madziwana	6C Mrs. Chiodze		7G Mrs. Gambara	7T Mr. Tarangeyi	4MB Mrs. Mabika	
5	9:45 10:15							
	10:15 10:45	B R E A K						
6	10:45 11:15	4J Mrs. Jenami	Hymn singing		7M Mr. Mhlanga	3R Mrs. Rubaba	3MK Mrs. Makombe	
7	11:15 11:45							
8	11:45 12:15	5C Mrs. Chikonyora	5Z Mrs. Zhou	7V Mrs. Vilika	5D Mr. Dutlow	6CA Mrs. Chirau	6M Mr. Muza	3ML Miss Mlambo
9	12:15 12:45							
	12:45 13:00							

